



## 新しい時代の教育を創る

支部長 大井 隆

(上所小 59年度)

私の手元に、令和二年度新潟中央東支部会員の今年度の研究計画に当たる「マイプロフィール」が届きました。開いてみると、まず目に入ってくるのが、会員の「目指す教師像」です。

ある小学校会員は、「児童が『考えることが楽しい』と思える授業づくりができる教師」、ある中学校会員は「時代の流れを見据えながら、それに合わせて考えを変えていかなければならないことと、変えてはいけないことを的確に判断し、生徒とともに成長していくことのできる教師」ある高等学校会員は「生徒指導、部活動指導、学級経営を通して、タフな生徒を育成できる教師」等々です。さらに目を進めると、目指す教師へ近付くための、「見通し」と「今年度の実践」が具体的に書かれています。

あっという間に、全部プロフィールに目を通してしまったのですが、それができたのも、単にその人の研修内容が分かるだけで無く、教育に対する思いや考え方、教員としての生き方も伝わってくる魅力的なものだったからだと思います。

当支部研修の特色は、このマイプロフィールを基にした、日々の実践の積み重ねにあります。様々な校種を抱え、それぞれの課題が違う中、個の課題解決に焦点付けられたダイバーシティな研修であることを私たちは自負とともに自覚することが大切だと考えています。

では、このダイバーシティな研修システムは「マイプロフィール」を年度当初に書きさえすればうまく機能するでしょうか。

大切なことは、一人一人の会員が、日々の実践へのモチベーションを高め続けることです。そのためにはタイミング良く、「成果を自覚すること」や「見通しがもてる支援を受けること」が必要であると考えています。

自分が取り組んだことが子どもたちの成長に効果的であったと自覚できたり、子どもや保護者から取組について肯定的な評価があったりすることがあれば、研修へのモチベーションは上がり、研修の好循環を生み出すでしょう。また、自分の取組について他の人から関心をもってもらったり、肯定的に評価されたりしても同様の効果があると思います。たとえ、取組が上手くいかなかったとしても、取組を支援してもらったり、改善の方法を提示してもらったりするなど、人とのよいかかわりがあれば、モチベーションは高まります。

このように考えると、当支部研修において大切なことは次の二つであることが見えてきます。

- 取組を発信すること
- 他の会員への関心を高め,かかわること

この二つについて、意識して日々の実践に取り組むことが、自分の目指す教師像実現により早く、そして近付くことができると思います。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する様々な対応で、研修に目が向きにくい状況も生まれていますが、このようなときだからこそ、「オン・ザ・ジョブ・トレーニング（OJT）」で、各学校区単位の顔の見える研修を計画的に進めていきましょう。

そして、今年度、「新しい時代の教育を創る」を掲げ、スタートしたときわ会において、新しい時代の研修の在り方を求めつつ、会員一人一人が、力を高めることを期待しています。